

東都大学図書館通信(深谷キャンパス)

本読む門には福来る

～ 大林正智著『ROCK司書のセンチメンタル・ライブラリー』(郵研社) p.40 ～

1. 幕末の女性医師・楠本イネ～シーボルトの娘に生まれて～



幕末の女医 楠本イネ
シーボルトの娘と家族の肖像
(宇神幸男著 / 現代書館)

日本初の公認女性医師として知られるのは、1885年に医術開業試験に合格した荻野吟子ですが、それ以前にも医学を志した女性たちがいました。その一人がドイツ人医師シーボルトの娘、楠本イネです。小説『ふぉん・しいほととの娘』(吉村昭著)や『オランダおいね』の呼び名で知られる楠本イネは、父によく似た蒼いまなざしと明るい髪色をもち、人と違う容姿に苦労しながらも、父と同じ医師になることを志しました。

シーボルトの来日は江戸時代末期の鎖国体制下。長崎出島のオランダ商館に医師として着任し、鳴滝塾^{*1}を創設して西洋医学の実践的な医術を教授しました。

来日ほどなくして、日本人女性の楠本海と結婚。1827年に娘のイネが誕生しますが、1828年に起きたシーボルト事件^{*2}によって彼は国外追放されてしまいます。幼くして父と生き別れたイネは、父の経済支援により母と暮らし、美しく利発な少女に成長するも性格は男性的で、母が勤める家事修行も好まず、読書や勉強に勤しんでいたそうです。青年期には医学を学ぶために母のもとを離れ、父の門下生だった医師らを訪ねて愛媛や岡山を遊学。イネが特に力を注いだのは産科で、多くの女性が男性医師の診療を恥じらい、難産でも医師を呼ばずに命を落とすことがあったため、自らが産科医になることで多くの女性の命が救えるかもしれないという思いからだったと言われています。24歳の時に娘を授かり出産。イネはシングルマザーとして長崎で開業しますが、自分の医術の未熟さに苦慮し、28歳で再び遊学します。1859年、イネが32歳の時に父シーボルトの来日が許され再会。父の紹介でオランダ医に学び、1870年に43歳で東京・築地に産科医院を開業。1873年には福沢諭吉の推挙で宮内省御用掛を拝命し、明治天皇第一子誕生に立ち会います。1875年に医術開業試験(受験資格男性のみ)が始まり、10年後には女性も受験可能になりましたが、58歳と高齢だったイネは受験を断念。長崎に戻り、産婆(助産師)として活躍したそうです。なお、漫画『銀河鉄道999』に登場するメーテルはイネの娘高子がモデルであると言われています。



楠本イネ
出典：国立国会図書館
「近代日本人の肖像」
<https://www.ndlg.go.jp/portrait/>

*1 1824年創立の医学・蘭学の私塾兼診療所。門下生に高野長英、伊藤圭介など。
*2 シーボルトがオランダへ帰国する際、持ち出しが禁じられていた日本地図などが船に積まれていたため、彼は国外追放され、多くの洋学者が処罰されました。

◆ 渋沢栄一翁が愛した言葉 ◆

ただこれを知ったばかりでは、興味が無い。
好むようになりさえすれば、道に向かって進む。
もし、それ衷心(ちゅうしん)より道を楽しむ者に至っては、
いかなる困難に遭遇するも挫折せず、
敢然として道に進む。



【『論語講義(二)』 雍也第六】

いわば「好きこそものの上手なれ」です。好きなものや得意なものは努力が苦にならず、楽しみながら自然と上達していくものですが、あまり好きではないものや不得意なものは、努力すること自体が苦痛かもしれません。ただ、あまり好きではないものでも少しだけ前向きに取り組めば、何か興味あることに出会えるかもしれませんし、面白さに気づくかもしれません。「楽しむ」ことは、何かを成し遂げるための原動力。勉強も仕事も「楽しんで」向き合ってみませんか。

※格言は『渋沢栄一 100の訓言』 渋澤健・著/日本経済新聞出版社 p.66より転載

2. 成瀬に沼れ!

著者・宮島未奈さんのデビュー作にして2024年本屋大賞に輝いた『成瀬は天下を取りに行く』。かつてない最高の、唯一無二の主人公と謳われる女子中学生・成瀬あかりに“沼る”読者が続出していると、話題沸騰の作品です。破天荒ながら自分の信じた道をまっすぐに進む成瀬の姿は、彼女を取り巻く人たちに(知らぬ間に)ポジティブな影響を与え、その圧倒的な存在感には安心感さえ覚えます。「この夏を西武に捧げる」と閉店を控えた西武大津店に毎日通い詰めてテレビ中継に映ろうとしたり、お笑いで頂点を目指したり、200歳まで生きることを目標にしたりと、型破りな夢に向かって突き進む成瀬の姿は爽快かつ痛くて、なんと清々しいです。成瀬シリーズ2作目『成瀬は信じた道をいく』も図書館所蔵がございます。こちらではびわ湖大津観光大使になった成瀬に会えますよ!



成瀬は天下を取りに行く
(宮島未奈 著 / 新潮社)

3. 「言葉」で暮らしに彩りを

タイトルに心を惹かれてページをめくると、著者の山口謠司さんが「はじめに」で語られている印象深い言葉に出会いました。それは「ことは人が創る」。一日はどなたにとっても24時間ですが、その人が紡ぐ言葉で、楽しい一日にも、そうでない一日もなる、という山口さんのお考えは胸に響き、同時に深く考えさせられました。時間に追われて忙しく過ごしていると、「今日は何もなかったな」「かわり映えない毎日だな」と感じることもあるかもしれませんが、ささやかな喜びや嬉しさを言葉に表現することで、毎日の暮らしに灯りがとまり、心が温まるのを感じることでしょう。『なんでもない一日の辞典』にはひとつの表現から連想される美しい日本語がたくさん紹介されています。例えば、「かわいい」は「愛らしい」「可憐」「あどけない」「愛嬌」、「おいしい」は「頬が落ちる」「舌を楽しむ」「舌鼓を打つ」「絶品」などです。言葉で暮らしを彩ってみませんか。



なんでもない一日の辞典
(山口謠司著/水元さきのイラスト/WAVE出版)

4. 学生選書ツアー-POP 展示会@紀伊國屋書店新宿本店



2024年12月16日(月)から2025年1月13日(月・祝)までの約1カ月にわたり、紀伊國屋書店新宿本店3FでPOP(本の魅力を伝えるメッセージカード)展示会を開催中です。「東都大学学生が選んだおすすめ本」として30冊以上の本とPOPを展示しています。季節柄、何かと忙しい毎日ですが、年末年始をともに過ごす本を探しに出かけてみてはいかがでしょうか。本屋さんにはワクワクがいっぱいです。本に囲まれて過ごす時間は楽しいですよ。

人狼ゲームで学ぶコミュニケーションの心理学 -嘘と説得、コミュニケーション

高齢者看護学領域 乗原直弥



人狼ゲームで学ぶ
コミュニケーションの心理学
嘘と説得、コミュニケーショントレーニング
(丹野宏昭、児玉健 著 / 新曜社)

本書のタイトルにある「人狼ゲーム」は、会話と議論を中心としたパーティーゲームです。大学生であれば、仲間内で人狼ゲームを楽しんだ経験がある方も多いのではないのでしょうか。私も大学生の時に初めてプレイし、その後、趣味の1つとなりました。本書は、パーティーゲームである人狼ゲームで、自分のコミュニケーションの特徴を把握し、より良いコミュニケーション技術を身につけることができるという独自の切り口に加え、人狼ゲームを知らない人でも活用できる丁寧な解説が魅力です。本書は4部構成で、第3章では議論におけるコミュニケーションが心理学の見解から科学的に解説されます。例えば、議論において意見が翻った人狼ゲーム参加者の会話を引き合いに、「なぜこの会話で意見が翻ったのか」が心理学の観点から説明されます。そして第4章では、コミュニケーション技術を、人狼ゲームを通して身に付けるトレーニング方法が具体的に記述されています。人狼ゲームは村人陣営と人狼陣営に分かれ、議論を行い怪しい人物を追放しながらゲームが進行します。そして、最後まで追放されずに残っている陣営の勝利となります。このルールの上、自分が追放されないための議論の技術がゲームの勝敗に大きく関わります。本書では、人狼ゲームで求められる議論の技術は、学校や職場での大小さまざまな会議においても重要な技術であると述べられています。人狼ゲームで求められる議論の技術としては、伝える技術や聞く技術はもちろんのこと、主体的な主張をしつつ他者への配慮を行うコミュニケーション技術が求められます。これらの技術は、看護におけるカンファレンスをはじめ、さまざまな場面で必要な技術でしょう。さらに人狼ゲームでは、参加者それぞれに割り当てられた能力や役割に基づく議論が展開されます。そのため、自分とは異なる立場や視点を理解し、それを踏まえて議論に参加することが鍵となります。この点は、看護師など、他者の立場や背景を深く理解しながらコミュニケーションを行う職業に近い要素があるのではないのでしょうか。本書は、人狼ゲームを楽しみながらコミュニケーション技術を磨きたい方に最適です。また、心理学と実践のバランスが取れた内容は、日常の人間関係や職場の課題解決の一助となるでしょう。ぜひ一度手に取ってみてはいかがでしょうか。

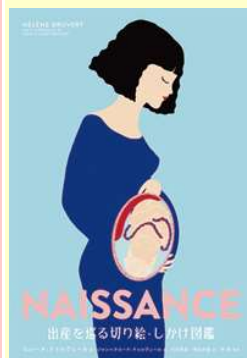
【特別展】HAPPYな日本美術 —伊藤若冲から横山大観、川端龍子へ—

古来より人々は幸せな生活を願ってきました。誕生や婚礼などの慶事や節句、あるいは日々の暮らしの中で飾られる図様として、日本美術には様々な吉祥の造形が表現されています。本展では、長寿や子宝、富、繁栄など人々の願いが込められた美術に焦点をあて、現代の私たちにとってもなじみ深い、幸運をもたらすシンボルである松竹梅や七福神をはじめ、見る者を楽しく幸せな気持ちにしてくれる作品の数々を紹介します。下図(右)は伊藤若冲による《鶴図》(個人蔵)という作品で、長寿を象徴する鶴が躍動感あふれる描写によって水墨で描かれています。伊藤若冲は江戸中期に活躍した日本画家で、奇抜な発想や卓越した描写力は多くの人々を魅了しました。また下図(左)は、川端龍子による《百子図》(大田区立龍子記念館)という作品で、子孫繁栄を象徴する画題のもと、子どもたちが象と戯れる平和な情景が描かれています。川端龍子は近代日本画の三大巨匠のひとりとして知られ、彼が描くスケールの大きい豪胆な作品は「昭和の狩野永徳」とも評されました。幅広いテーマのHAPPYな作品が一堂に会する展覧会です。心温まる作品を通して、皆様が明るく健やかな新年を迎えられますことを祈念いたします。



作品(右): 伊藤若冲《鶴図》18世紀(江戸時代) 紙本・墨画 個人蔵 作品(左): 川端龍子《百子図》1949(昭和24年) 紙本・彩色 大田区立龍子記念館
会場: 山種美術館 (〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-12-36) アクセス: JR 恵比寿駅西口・東京メトロ日比谷線恵比寿駅 2番出口より徒歩約10分 または 恵比寿駅西口1番乗り場より日赤医療センター前行都バス(学06番)に乗車、「広尾高校前」下車徒歩1分、渋谷駅東口ターミナル54番乗り場より日赤医療センター前行都バス(学03番)に乗車、「東4丁目」下車徒歩2分 会期: 2024年12月14日(土)~2025年2月24日(月・振休) 開館時間: 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで) ※今後の状況により会期・開館時間等は変更する場合あり 休館日: 月曜日[1/13(月・祝)、2/24(月・振休)は開館、1/14(火)は休館、12/29(日)~1/2(木)は年末年始休館 入館料(税込): 一般1400円、【冬の学割】大学生・高校生500円、中学生以下無料(付添者の同伴が必要) ※大学生・高校生は本展に限り入館料が通常1100円のところ500円 ※障がい者手帳 被褥者健康手帳をご提示の方、およびその介助者1名一般1200円 ※きもでござ茶館の方は、一般200円引きの料金(きもの特典) ※複製の割引・特典の併用は不可 山種美術館公式HP: <https://www.yamamoto-ane-museum.jp/> ※最新の情報は山種美術館HPをご覧ください ※画像の転載ならびにコピー禁止

◇ ちょこっと図書紹介 ◇



フランス語で誕生を意味するNAISSANCE。妊娠と出産のメカニズムを切り絵と仕掛けで表現したこの本は「すごい」のひと言です。レースのように繊細で美しい切り絵には見惚れてしまい、すし、胎児や母胎の様子をわかりやすく表した仕掛けには感動を覚えます。本がとても繊細ですので、取扱いには十分ご注意ください。

出産を巡る切り絵・しかけ図鑑
(エレーヌ・ドゥルヴェール 絵
ジャンクロード・ドゥルヴェール 文
弓井菜那ほか 訳/ 林聯 監修/ 化学同人)

◆ 紫式部(ムラサキシキブ) ◆

紫色の実が重なり合っつく様子から「紫重実(ムラサキシキミ)」という名がありました。次第に『源氏物語』の作者である紫式部の名で親しまれるようになりました。花言葉は「聡明」「上品」「愛され上手」。平安時代の才女・紫式部と多くの女性に愛された『源氏物語』の主人公・光源氏にちなんだ花言葉です。



◇ 図書館からのお知らせ ◇ 日頃より図書館をご利用くださりありがとうございます。2~3月に国家試験を控えている看護学科、管理栄養学科の4年生の皆様をはじめ、毎日朝早くから夜遅くまで、図書館で勉強している学生さんたちを多く見かけるようになりました。私語や席取りなどもなく、マナー良くご利用いただいています(ありがとうございます!)。東都大学(深谷キャンパス)2号館北棟3階にはラーニングcommonsがあり、こちらは学習のほか、グループワークやディスカッションの練習などにもご活用いただけます。ラーニングcommonsを利用する際は、commons内に設置している使用簿への記入をお願いしているところですが、使用簿を記入せずにご利用いただいていることもあるようです。図書館運営委員会では、皆様の利用状況に依りてより良い学習環境を整えていきたいと考えておりますので、お手間をおかけしますが、使用簿への記入をよろしく願います(使用簿は学科・学籍番号・利用合計人数のみの記入で記名はございません)。本年も東都大学図書館通信をお読みいただきありがとうございました。良いお年をお迎えください。